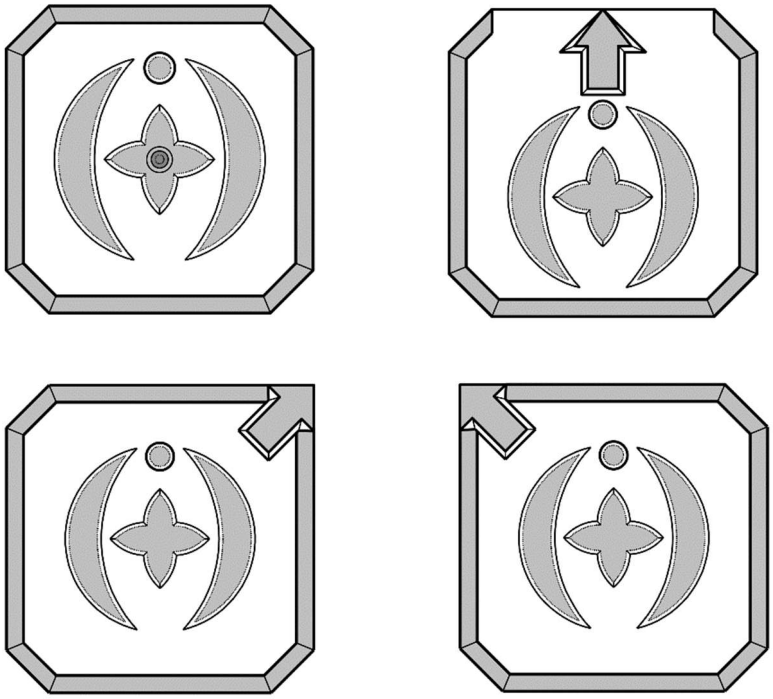
千葉市道路境界標に関する

仕　様　書



令和７年７月

千葉市建設局

第１章　総 則

１　適用範囲

この仕様書は、道路法（昭和２７年法律第１８０号）に基づき認定された千葉市道（本市が管理する国道及び県道を含む。）、その他法令等に基づき本市が管理する道路とこれらに隣接する土地との境界を明示する千葉市道路境界標について適用する。

第２章　　コンクリート杭

２　構造・機能及び寸法

１）コンクリート杭（以下「杭」という。）の構造及び寸法については別図１のとおりとする。

２）杭の寸法の許容差は、頭部辺長が±３ｍｍ、長さが±５ｍｍとする。

３）境界点の位置表示、市章及び文字は、容易に摩耗、変形、損傷などで消滅してはならない。

３　品質

３.１　外観

杭の外観は、使用上支障となる、きず、ひび割れ、欠け、反りねじれ及びひけがあってはならない。

３.２　性能

杭の性能は表１に示すとおりとする。また、素材のコンクリートには環境基準を超える有害な物質を含んではならない。

表１－杭の性能

性 能 項 目	数　　値
水セメント比（質量）％	５０以下
空気量 ％　a)	４～７
圧縮強度 N/mm2　b)	１８以上
曲げ強度 N/mm2　b)	３．０以上
相対動弾性係数 ％　b)	７０以上

注　a)：これらの項目はフレッシュコンクリート時に測定する。

b)：これらの項目は供試体を用いて確認する。

4　試験方法

4.1　外観

外観試験は、目視によって行う。

4.2　寸法測定

杭頭部辺長及び長さはどちらも最小読みとり１ｍｍで測定する。

4.3　性能試験

4.3.1　水セメント比

バッチごとに、配合又は調合したときの使用水量及びセメント量を計算し、それらの計量値の割合を質量比で求める。

4.3.2　空気量

空気量の測定は、JIS A 1116，JIS A 1118，又は JIS A 1128 のいずれかで実施する。

4.3.3　圧縮強度

圧縮強度の試験は、JIS A 1108 により実施する。

4.3.4　曲げ強度

曲げ強度の試験は、JIS A 1106 により実施する。

4.3.5　相対動弾性係数

相対動弾性係数の測定は、JIS A 1148 により実施する。

5　検査

5.1　一般

製品の検査は、形状検査と性能検査とに区分して行う。

5.2　形状検査

形状検査は、4.1 及び 4.2 に従って行い、2 及び 3.1 に適合しなければならない。

検査品の個数及び検査の頻度は、別途協議すること。

5.3　性能検査

性能検査は、4.3 に規定する試験を行い、3.2 に適合しなければならない。

検査品の個数及び検査の頻度は、合理的な方法で製造業者が決定する。

第３章　　金属標（ボルト）

6　形状・機能及び寸法

１）金属標（ボルト）の形状及び寸法については別図２のとおりとする。

２）金属標（ボルト）頭部の寸法許容差は、辺長が＋１ｍｍ、厚みが±０.３ｍｍとし、ボルトの寸法許容差は、長さが±２ｍｍ、径が±１ｍｍとする。

３）設置用ボルトは着脱式とする。

４）境界点の位置表示、市章及び文字は、容易に摩耗、変形、損傷などで消滅してはならない。

7　品質

７．１　外観

金属標（ボルト）の外観は、頭部上面に著しいきず、ばりなど標識としての機能に影響を与える変形があってはならない。

７．２　材質

１）金属標（ボルト）の頭部の材質は、真鍮製（鍛造用黄銅棒 C3771BE（JIS H 3250 準拠））とする。

２）設置用ボルトは鋼製（SS400）とし、表面処理は JIS H 8610 に規定する１級の電気亜鉛メッキ、又はこれらと同等以上の防錆処理を施すこと。

第４章　　金属標（貼付）

8　形状及び寸法

１）金属標（貼付）の形状及び寸法については別図３のとおりとする。

２）金属標（貼付）の頭部の寸法許容差は、辺長が±１ｍｍ、厚みが±０.３ｍｍとし、アンカーピンの寸法許容差は、長さが±２ｍｍ、径が±０.５ｍｍとする。

３）境界点の位置表示、市章及び文字は、容易に摩耗、変形、損傷などで消滅してはならない。

9　品質

９．１　外観

金属標（貼付）の外観は、頭部上面に著しいきず、ばりなど標識としての機能に影響

を与える変形があってはならない。

９．２　材質

１）金属標（貼付）の頭部の材質は、真鍮製（黄銅板 C2801（JIS H 3100 準拠））とする。

２）アンカーピンの材質は、本体部分を真鍮製（C2700)、芯棒部分はステンレス製（SUS304N1）とする。

第５章　　金属鋲

１０　形状及び寸法

１）金属鋲の形状及び寸法については別図４のとおりとする。

２）金属鋲の許容差は、長さが±３ｍｍ、径が±０.８ｍｍとする。

３）境界点の位置表示及び市章は、容易に摩耗、変形、損傷などで消滅してはならない。

１１　品質

１１．１　外観

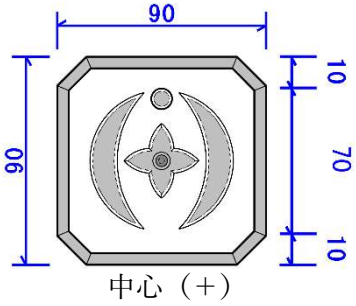
金属鋲の外観は頭部上面に著しいきず、ばりなど標識としての機能に影響を与える変形があってはならない。

１１．２　材質

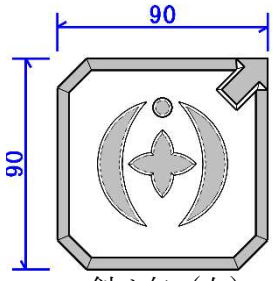
１）金属鋲の材質は、表面硬化が可能な鋼又は熱処理用鋼で、製品がロックウェル硬さ試験（JIS Z 2245 準拠）によって求まる HRC 硬度４５±５を満足させること。

２）表面処理は JIS H 8610 に規定する１級の電気亜鉛メッキ、又はこれらと同等以上の防錆処理を施すこと。

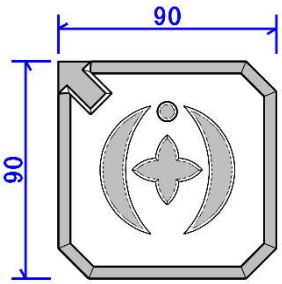
別　図　1　（全４種）



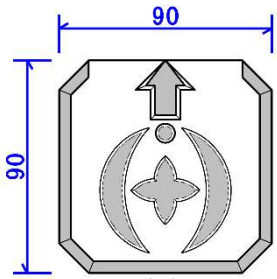
中心（＋）



斜め矢（右）

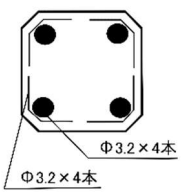


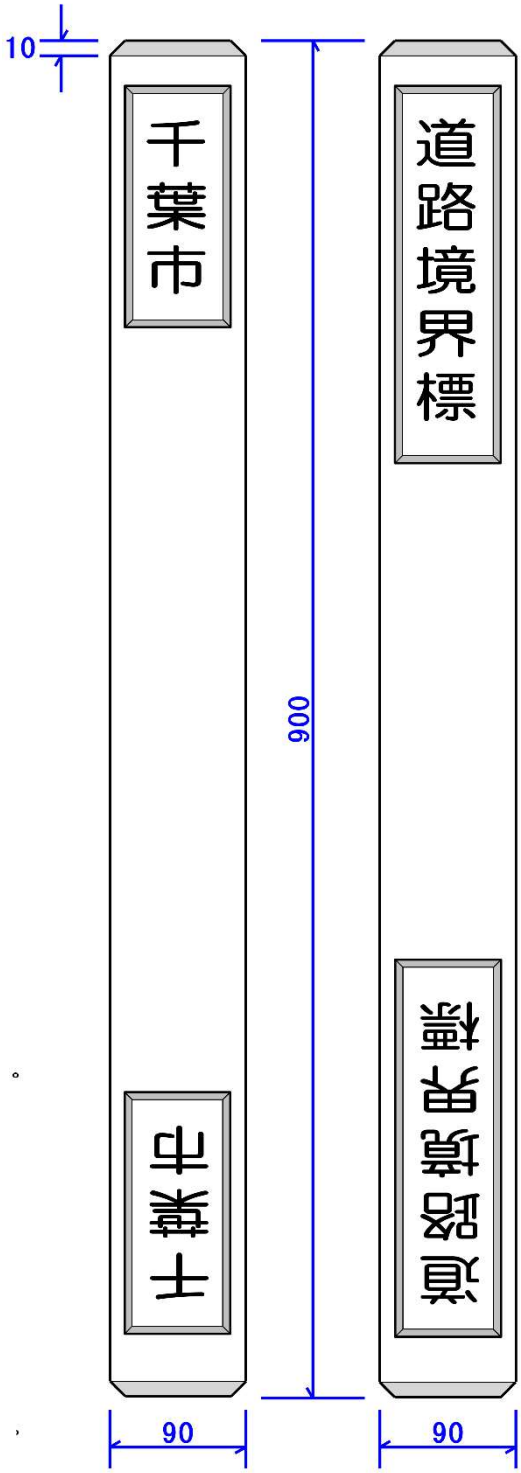
斜め矢（左）



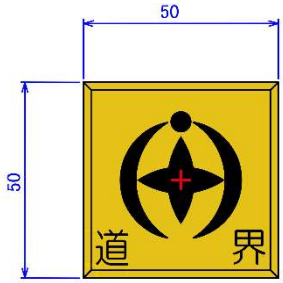
直矢

配　筋

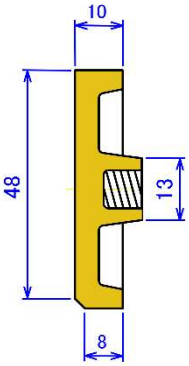


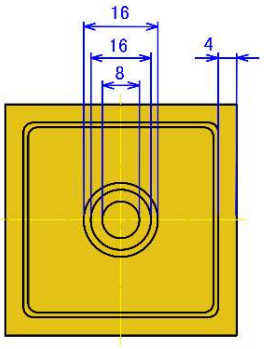


別　図　２　（全９種）

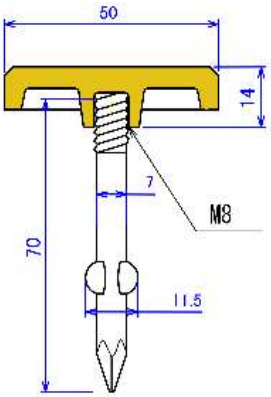


中心（＋）

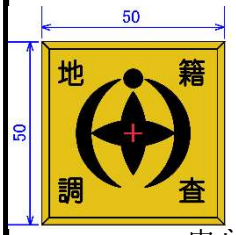




斜め矢



直矢

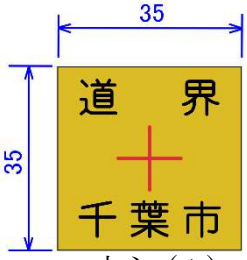


中心（地籍調査用）

斜め矢（地籍調査用）

直矢（地籍調査用）

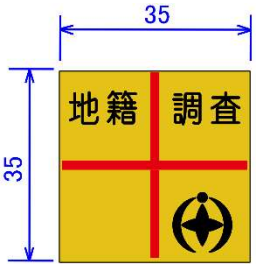
別　図　３　（全１２種）



中心（＋）

斜め矢

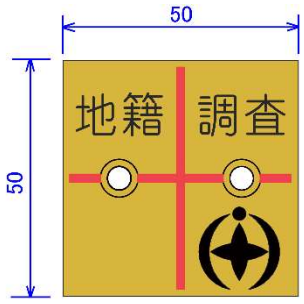
直矢



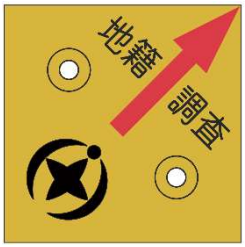
中心（地籍調査用）

斜め矢（地籍調査用）

直矢（地籍調査用）

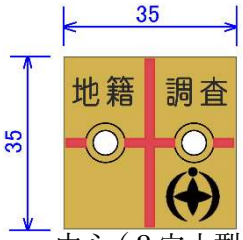


中心（２穴大型）

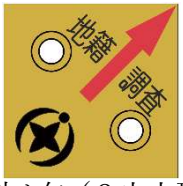


斜め矢（２穴大型）

直矢（２穴大型）



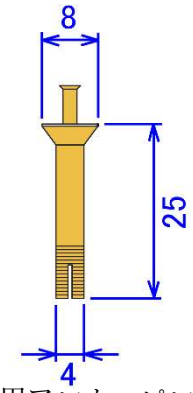
中心（２穴小型）

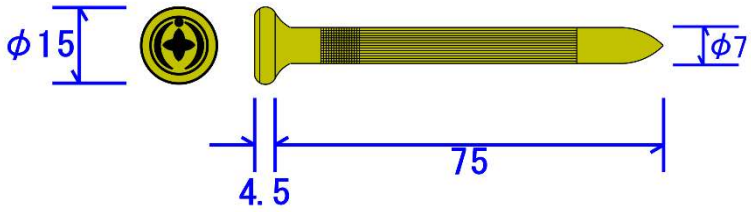
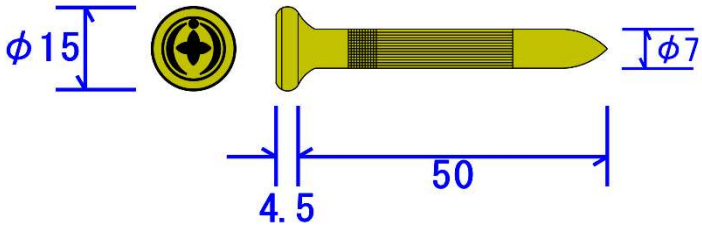


斜め矢（２穴小型）

直矢（２穴小型）

側面図(12 種共通)



２穴用アンカーピン

別　図　４　（全２種）